

# ちいきのなかま通信

## No.92

発行日：2022年7月23日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

みなさんに  
お約束します。

## 2022年度のちいきのなかま



私たちは当事者の思いを尊重し、寄り添う支援を展開していきます。相互性や双方向の支援の意義を考え続け、現場で、ケアする人の思いにも寄り添えるよう努めます。日々ガバナンス・コンプライアンスを重視し情報公開を行い、透明性のある運営で法人が社会的な信頼を得られるよう運営します。

理事会は専門職のアドバイスを受け、民主的に運営して課題解決や方針決定を行います。何より思うのは、子どもが健やかに育まれる地域づくりに取り組むこと、法人に関わり働く仲間、支援者の皆さんが、楽しく仕事や活動ができるよう、業務の効率化を図り、風通しの良い、やりがいのある仕事と活動を展開していきます。

## 2021年度のご寄付の報告



2021年度のご寄付額は合計¥617,000です。

みなさまには、心から感謝申し上げます。いただいたご寄付は、子ども・子育てを支援する活動で活用させていただきます。主な活用先としては、産前産後の家事サポート利用補助です。対象は行政（佐世保市）からの補助対象者以外です。コロナ禍、両親ともが県外出身で里帰りできないまたは実家から産後のお手伝いに来ていただけないご家族は産前産後24回48時間無料で家事サポートを受けられる補助があります。しかし、県内・市内に実家のある方は対象ではありません。その方々の支援をするために寄付を使わせていただきます。

紙面にて、ご寄付いただいた皆様のお名前をご紹介します。

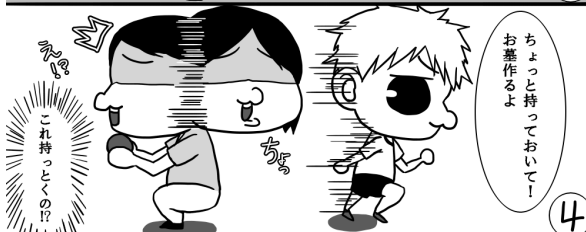
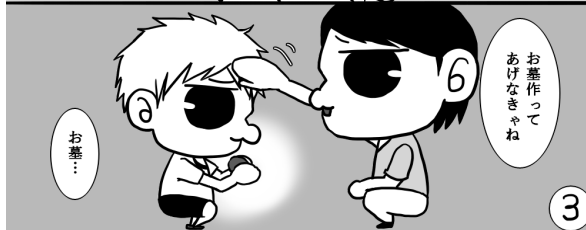
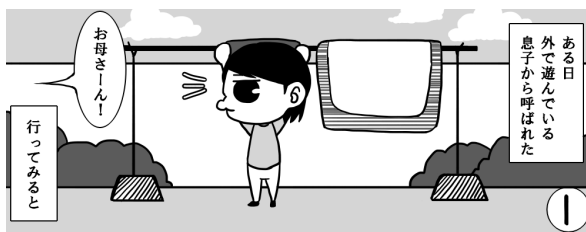
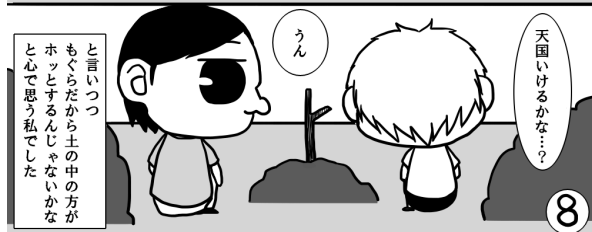
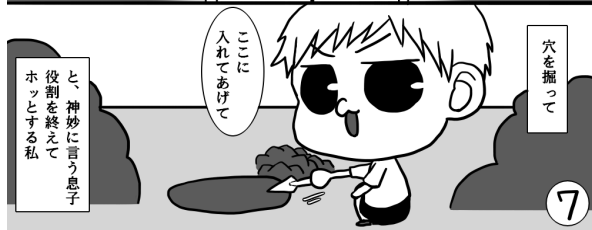
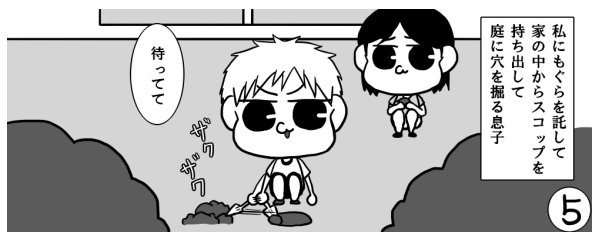
### 寄付者ご芳名（敬称略）

森山裕美・吉武祥子・森山忠良・西原博樹・川原ゆかり・つどい場ゆいまーる田中美貴・大賀幸子・品川知通子・平川奈津希・徳田直子・横田裕子・石田 裕・医療法人TOGつきやま産婦人科・福田金治・福田金正・花城暢一・山口美環・小泊聡子・指原亜沙美・重松日香里・野中祐子・松田容子・岩永厚子・大熊郁子・徳永寛子・守永 恵・株式会社ACT代表取締役大宅和子・深江陽子・池田左由里・光武剛彦・岩本聡美・松本由美子・吉口久美子・三宅正吾・山崎 翠

☆ おもちゃやタオル類、消毒液・絵本なども会員さんほか多くの方から日々「必要なら」と寄付していただいています。感謝。

# 子どもの世界 こ～んなかんじ

by 蓮すけ



NO.88 コメント抜粋『多くの子どもさんは2歳後半ぐらになると短期的な見通しを持てるようになり「待つ」ことができるようになります。また、目の前にないものを想像し、自分なりに抽象的な概念を育み始めるのもこの時期です。暮らしの中で積み重ねてきた体験と大人との会話や絵本などから得た知識を組み合わせ、豊かな想像の世界を展開します。一見、科学的でなく論理的でもないのですが、この時期は「正解」を学ぶよりも子どもたちの想像の世界を広げていく選択肢をお勧めします。子育てがとても楽しくなるからです。サポートの中で、提供会員さんが子どもと想像力を膨らませる会話の展開を楽しむ場面に遭遇することがよくあります。あまり時間に追われていないからこそできる「子ども支援」だと思います。』

コロナ禍がもう3年目、「暮らしの中で積み重ねてきた体験」ができないまま成長している子どもたちに現場で出会います。「大変だな」と正直心配になる場合もあります。子どもの発達を保障する取り組み、なんとか迅速にできないかと考えます。これまで人類はさまざまな苦難を知恵を出しながら乗り越えてきた歴史があることを、私たちは大人として再認識したい。ウイルス感染に対応できないのは社会の問題です。今は「子育ては親の責任」と言える状況ではない...ということです。



¥1,000で販売中！！です。

## 「お産体験をシェア」#2を作成しました。 ～ケアする人へのインタビュー～

「ケアする人たちはどう生きてきたのか」ちいきのなかまとしては初めてこの作業に取り組みました。実はそもそも「過去のお産について知りたい！」が動機でした。ただ、インタビューをしていくうちに、「お産」を前後して家族や地域共同体で人が関わりあい、助け合ってきた「歴史」があったことを改めて認識しました。そして「お産」は普通に「暮らしの営み」で暮らしの一コマ、家の中にもありました。今やお産は医療や助産、母子保健の領域で、ほとんどが病院にあることです。おそらく多くの若い人たちはそれを知らない。昔はお産や子育ての風景に普通に多くの人（家族だけじゃなく地域の人たちも）がかかわりあっていた。それはそれで大変だったけれど、だから、女性たちは子育て期を乗り越えることが出来た。このことをきちんと伝えたいと思います。私たちがお産に寄り添いたいと思ったのは、家族が孤立していて、支える人がいないことが問題だと気付いたからです。これからは一層その状況が深刻になると思います。今は世代と家族の枠を超えて支援と子育て文化を伝えるための仕組みが必要なのです。（前世代の人は、次世代の人に語り継ぐことも必要ですよ。）

インタビューの作業を通して、子ども・子育てが多くの大人との関わる環境づくりの必要性を一層感じました。子どもから大人に成長する過程で、私たちは自分がしてもらったから次世代にしてあげることができません。「与えられたから与えることができる」文中、当法人アドバイザーの濱脇さんの言葉です。私たちは、願わくば、子どもたちにやさしさや思いやり、愛情を伝えてあげて、未来子どもたちが大人になり「やさしさ」や愛情をまた次世代に伝えてあげてほしい。「支援の循環」は「やさしさの循環」なのだと思います。戦乱の時

## 注目！！ケアする人たちのこと 寄り添う支援の人材はこれからもっと必要になる

ちいきのなかまは今「ケアする人」を求めています。私たちが担う地域子育て支援の担い手は有償ボランティア…不安定な立場でケアする人たちです。2022年6月のカウントではファミサポのみですが270件以上、580時間子どもの預かりがありました。月に80時間以上活動された方もいます。これだけの時間数で事故がなかったこと、ほぼ苦情がないことは奇跡的な実績です。私たちの支援は「寄り添う支援」です。ご希望に対して寄り添い続けることが第一のミッションだと思います。そのためには人材が必要です。今、さまざまな研修はオンラインでの実施が可能になりました。ケアする人の処遇の改善も検討しながら私たちとともに活動していただける方を求めています。

●これからのイベントや講座の予定●

イベント名	日時	会場	内容
産前産後ケア セミナー	8月10日（水） 10：00～12：00	未定	ママのお悩みあるあるに 応える会話 講師 濱脇文子さん
ぼちぼちヨガ教室	8月8日・22日 （月） 13:30～14:30	ボランティア センター別館	定期開催 参加費¥500 会員外¥800
おもちゃ整理の日	8月16日（火） 9：00頃から	ファミサポ事務所	おもちゃの消毒・整理 協力歓迎！
子育て支援者 つながる会議	8月18日（木） 10：30から	モントブレア	子育て支援者研修会 参加費¥500

【予告】 いずれも感染状況によりオンライン開催の可能性があります。

9月 子育て支援リスクマネジメント研修（講師：横田弁護士）

10月 虐待予防～地域住民が出来ること～



### 編集後記

久々の通信作り。ご寄付いただいた皆さんへのお礼をと思いながら、なかなかつくる  
ことができませんでした。言い訳になるのですが、昨年末から、ファミサポの現場、産前産後ケ  
アの現場は本当に忙しかった。初期の子育てを支える取り組みが、今本当に必要になってい  
ます。家族の支援は寄り添わないと問題が見えてきません。そんな日々ですが、本日通信を  
作成できたこと、大事な仕事を一つ終えた気分です。

### NPO法人ちいきのなかま



入会・会員（正・賛助）会員継続のご案内

正会員：総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費 ¥6,000

賛助会員：総会議決権なし 年会費¥3,000

主な特典：各種事業会員特別料金にてご優待

連絡先 NPO法人ちいきのなかま

携帯 090-9498-3608

E-mail:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp

HP:http://chiikinonakama.boo.jp/